

かわむらこどもクリニック NEWS

Volume 3 No 4

21号

平成7年 4月 1日

最近の感染症について

院長

...とくに麻疹について...

最近の感染症について、お話ししましょう。

1月末から2月にかけてのインフルエンザの流行は、皆さんも御存知のはずです。流行も一段落したと思っているうちに、またインフルエンザが流行しました。今回はB型が主流で、以前ほど症状は激しくありません。しかし咳や発熱の持続は長く、苦労したお母さんも多かったようです。インフルエンザは、症状を総合して診断するため初期には困難ですが、家庭内で同じような症状があれば、インフルエンザの確率が高くなります。

3月に入ってからは、例年になく麻疹（はしか）が多く見られるようになりました。昨年は1年を通して数人程度でしたが、2月末からはすでに10人以上の子が麻疹にかかっています。麻疹は重症で7～10日程度熱が続くだけでなく、大きな問題も抱えています。麻疹の始まりは、カタル期と言って風邪の症状とほとんど区別できません。つまり熱が上がり咳が始まるのです。当然お母さんたちは、風邪と思い普通に待合室で待つこととなります。また始めのうちは、我々小児科医でも区別が困難



で、インフルエンザや風邪が流行している時にはなおさらです。感染力が強いため知らない間や待っている間に待合室で、うつってしまうことがあります。当院のように、隔離室を設け、院内感染を予防するつもりでも、麻疹の場合は限界があり完全に感染を予防することは不可能です。

前にも述べたように麻疹は重症です。咳もひ

どく熱が7～10日続くことも珍しくはありません。幼児では、十分な水分の摂取が不可能になり、脱水を来たし点滴を行うこともよくあります。発疹が3～5日目に出現し、始めピンク色をしています。次第にくすんで汚くなり、ひどい子では皮下出血も見られ、それだけでも重症に見えてしまいます。かかった子のお母さんの多くは、麻疹の重さにびっくりするようです。名前はみんな知っている病気なのですが、重症であることは余り知られていないようです。

麻疹の根本的な治療は、残念ながらありません。二次感染を予防するために抗生物質を投与し、あとは対症療法（咳に対してせき止め、熱に対して解熱剤、脱水に対しては点滴など）を行い、麻疹が治まるまで時間を稼ぐこと以外にはありません。治療法がないため予防することがもっとも重要です。今回15人程度の麻疹の子がいますが、全員予防接種未接種児です。そのうち何人かは、入院が必要となりました。

麻疹は、本当に怖い病気です。予防接種の副反応はゼロではありませんが、麻疹にかかるといえば副反応と同じことが起こり、その確率は予防接種の何十倍の確率で起こってきます。ここで声を大にして言います。1歳過ぎてまだ麻疹の予防接種を受けてないお子さんはポリオを後にしても、なるべく早く接種するようにしましょう。

診療時間変更のお知らせ

4月15日(土)午後の診療は、宮城県小児科医会理事会、総会のため15:00までとなります。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひ致します。



ポリオ予防接種のお知らせ

4月にポリオの予防接種があります。忘れずに受けましょう。

対象者は次のとおりです

- 1回目 平成6年7月1日～12月31日生まれの児
- 2回目 平成6年11月に1回目を受けた児

その他投与を受けていない生後90か月までの児
投与場所は右の表のとおりです。その他の実施区域及び不明な点は、受付で問い合わせてください。

保健所別	実施月日	曜日	実施区域	会場
青葉保健所	4月11日	火	小松島	青葉保健所
	12日	水	北六、中江	青葉保健所
	14日	金	台原	青葉区役所
	18日	火	旭ヶ丘	青葉保健所
宮城野保健所	20日	木	上杉	青葉区役所
	19日	水	燕沢	宮城野区役所
	20日	木	東仙台	宮城野区役所
	21日	金	幸町、幸町南、柊江	宮城野区役所
泉保健所	25日	火	鶴ヶ谷	鶴ヶ谷市民センター
	18日	火	南光台	泉区役所

院長は、4月11日の青葉保健所の当番です。都合のつく方はおいで下さい。会場でお会いしましょう。実施区域が変わっても大丈夫です。

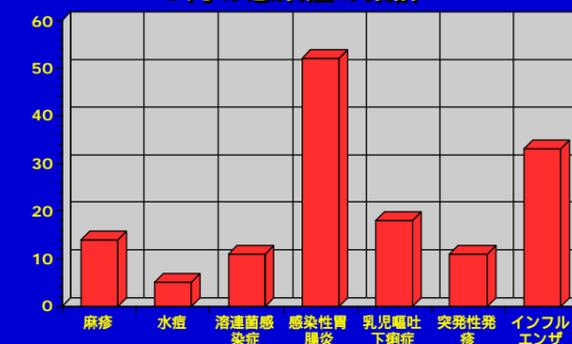
病気ひとくち知識

水痘（水ぼうそう）

原因は水痘帯状疱疹ウイルスで、潜伏期2～3週間とされ、発疹出現前日から全ての水疱（みずぶくれ）が痂皮（かさぶた）になるまでは感染の可能性がある。飛沫により感染し、感染力は強い。症状は発熱と同日から始まる紅斑（赤いぶつぶつ）を生じ、特徴的な水疱を形成し、約1週間の経過で痂皮を形成し治癒する。合併症としては、細菌による二次感染が時々見られる程度で、重症なものほとんどない。治療は今までは特別なものはなかったが、昨年よりウイルスの増殖を抑える薬剤が使用され、効果がみられている。安静を保ち、細菌性の二次感染を防止することが大切です。予防としては、水痘ワクチンがあるが効果は90%程度と考えられている。



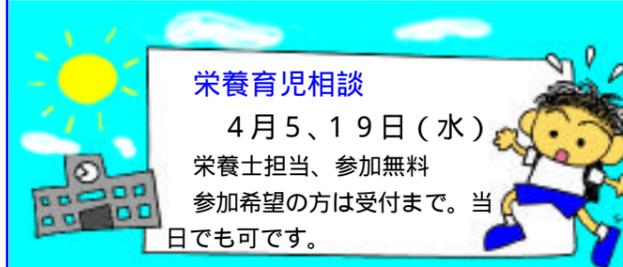
3月の感染症の集計



感染性胃腸炎、インフルエンザは下火になってきましたが、3月中旬から、B型と思われるインフルエンザが見られて少し増加しています。最初に書いたように、麻疹が流行中です。予防接種は早目にしましょう。

栄養育児相談

4月5、19日(水)
栄養士担当、参加無料
参加希望の方は受付まで。当日でも可です。



4月のお知らせ

義援金

有難うございました

皆様のご協力により、兵庫県南部地震義援金29,359円を“かわむらこどもクリニックスタッフ、患者一同”として送らせていただきました。ご協力有難うございました。院長

ラジオに出演します

4月10日(月)から、月1回1週間、東北放送ラジオ“歌のない歌謡曲”で、電話による出演をします。7:00～7:15のうちの2～3分程度です。興味ある方はどうぞ。

編集後記

ずいぶん春めいて、風邪も少なくなっています。またまた新聞作りに苦労しています。受付に、投書箱を設置しました。なんなりとお入れください。



目次に戻る

前の号

次の号